

# IR（統合型リゾート）ってなに？

橋 爪 紳 也

大阪府立大学21世紀科学研究機構教授  
大阪府立大学観光産業戦略研究所長  
大阪府／大阪市特別顧問

# IR（統合型リゾート）とは

- IR(Integrated Resort)とは、シンガポール政府が国民への説明用に考え出した造語であり、
- 『特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案』（いわゆるIR推進法）では、
- IR（特定複合観光施設）とは、「**カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの**」と定義されている。

# Marina Bay Sands in Singapore



# SkyPark on the top of Marina Bay Sands



# Casino in Marina Bay Sands

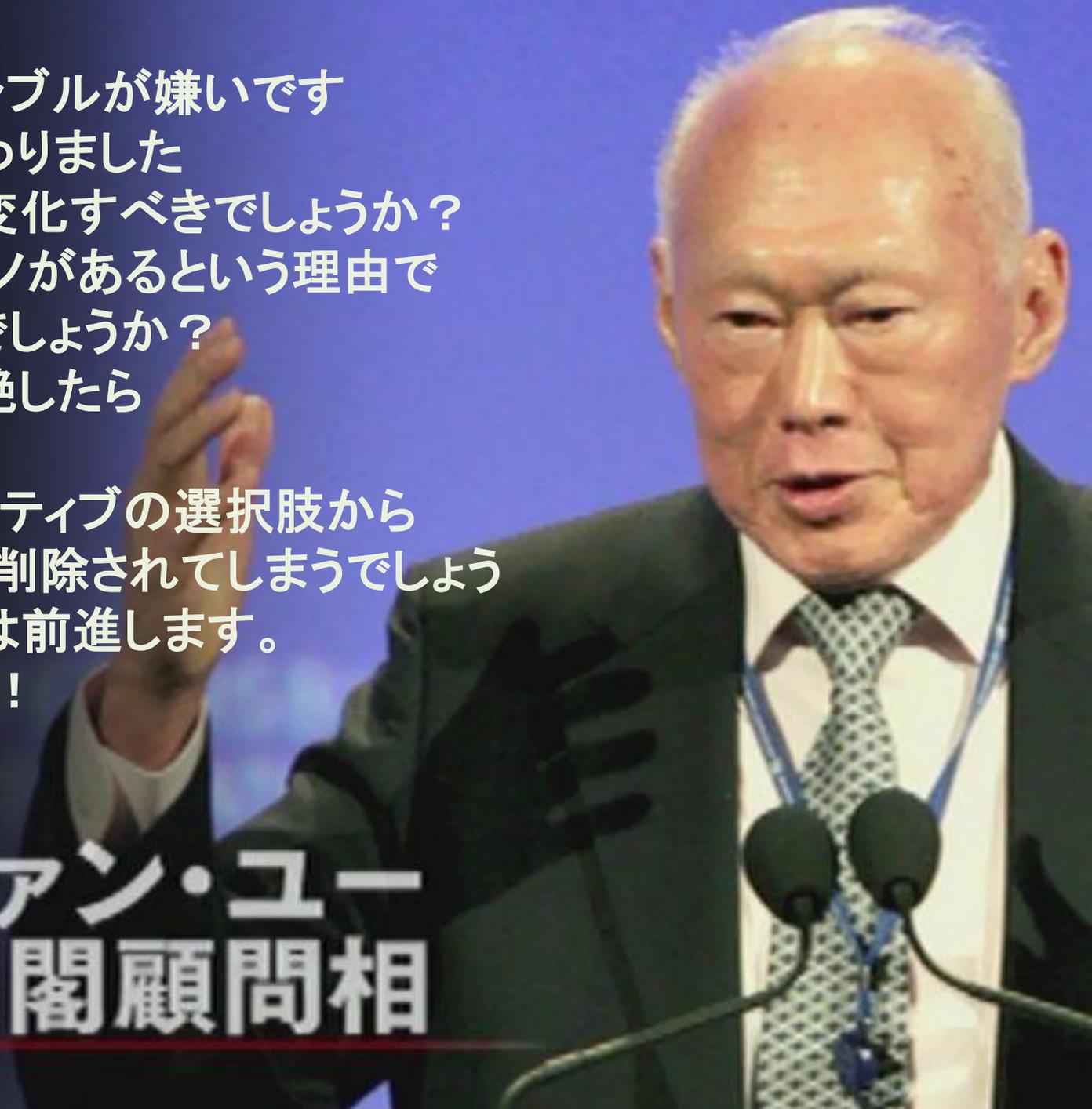


# カジノによる都市間競争

- カジノは、世界140カ国・地域以上で法制化。観光振興、地域活性化、雇用創出、税収増大に寄与。
- アジアでは、カジノを含む統合型リゾート（IR）による都市間競争が顕在化。
- マカオは、2002年に外資参入を容認。2006年にはカジノの総収益がラスベガスを抜いて世界一に。
- シンガポールでは、観光振興を目的に2005年にカジノ合法化の方針。2010年に2事業がオープン。2006年に2業者を選定。

私は今でもギャンブルが嫌いです  
しかし世界は変わりました  
シンガポールは変化すべきでしょうか？  
それともまだカジノがあるという理由で  
IRを拒絶すべきでしょうか？  
もしわが国が拒絶したら  
世界で活躍する  
ビジネスエグゼクティブの選択肢から  
わが国の国名は削除されてしまうでしょう  
必ずや わが国は前進します。  
さあ、やりましょう！

リー・クワン・ユー  
内閣顧問相



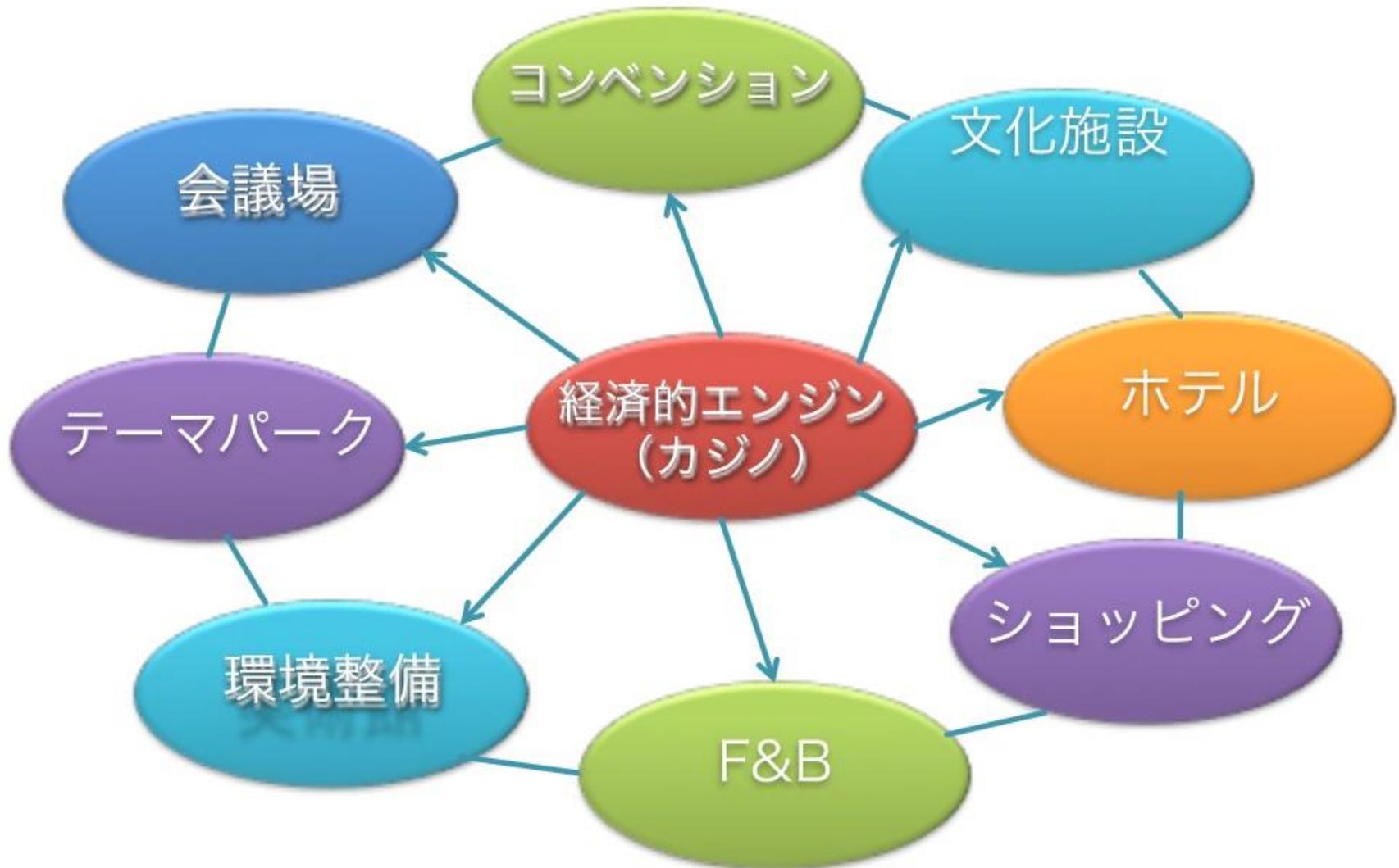
# シンガポールのIR（統合型リゾート）

- 2006年に2業者を選定
- マリーナベイの事業者 サンズ（米国）  
MICE中心
- セントーサ島の事業者  
ゲンティン（マレーシア）  
家族重視・エンタメ中心  
multi resort experience
- 異なった概念 異なった顧客層を集客

# シンガポールのIR（統合型リゾート）

- シンガポールで創案された統合型リゾート（IR）は、
- アジアの観光客を惹きつけ、都市間競争に勝つ、象徴的な、訪れるべき施設。
- マカオやラスベガスの施設とは、根本的に異なるカジノをその核に含む複合観光施設。
- カジノは総施設面積の5%以内。（実際は3%以内）

# IRの構成要素



# カジノホテルとのちがい



# シンガポールIR 2 施設による効果 (2010年open)

## マリーナ・ベイ・サンズ

- 規模 (敷地 20ha、延床58 万㎡)
- MICE重視
- 主な構成施設  
 ホテル (2561 室)、カジノ、  
 スカイパーク (プール)、レストラン  
 コンベンション施設 (12 万㎡)、  
 屋外イベントプラザ (1 万人収容)、  
 シアター2000席×2、美術館、  
 屋外イベント広場 (1 万人収容)  
 ショッピングモール (200 店舗超) など
- 開発投資額約 4,800 億円

## リゾート・ワールド・セントーサ

- 規模 (敷地 49ha、延床35 万㎡)
- ファミリー重視
- 主な構成施設  
 ホテル (1830 室)、カジノ、  
 ユニバーサル・スタジオ・シンガポール、  
 マリン・ライフ・パーク、海洋博物館、  
 会議施設 (6 万㎡)、屋外アトラクション、  
 グルメ・ショッピングモール (600店以上)  
 スパ など
- 開発投資額約 4,300 億円

	2009 年	2011 年 (2009年比)		2013 年 (2009年比)	
観光客数 (万人)	968	1,317	(36%増)	1,557	(61%増)
観光収入 (BilS\$)	12.8	22.2	(73%増)	23.5	(83%増)
IR事業税収		約690億円			

雇用創出 : 約6 万人 (直接的及び間接的)、名目GDP : 約1.7%押し上げ

議論の本質は、賭博の是非ではなく、

- アジアの都市間競争における新たな都市型観光拠点。
- 加えて、新たな産業創出と雇用創出。

# 「日本再興戦略」

平成27年6月30日「日本再興戦略」改訂2015を閣議決定

『統合型リゾート（IR）については、  
**観光振興、地域振興、産業振興等**に資することが  
期待されるが、

その前提となる犯罪防止・治安維持、青少年の健全育成、依存症防止等の観点から問題を生じさせないための制度上の措置の検討も必要なことから、IR推進法案の状況やIRに関する国民的な議論を踏まえ、関係省庁において検討を進める。』

# IRってなに？

**IR (Integrated Resorts : 統合型リゾート)**とは、

『特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律』

(いわゆるIR推進法) の定義

カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、  
宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体  
となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの

## 『IR推進法』の附帯決議

- カジノ施設の規模に上限等を設けるとともに、  
あくまで一体としての特定複合観光施設区域の整備が  
主眼であることを明確にすること

# IRってなに？

## IRの“負”のイメージ：その①

■ IRといえば、『**カジノ**』 によって・・・

- ・ 賭博
- ・ マフィア・暴力団
- ・ 犯罪、マネー・ローンダリング
- ・ ギャンブル依存症

といった負のイメージ

# IRってなに？

■“負のイメージ”（＝マフィア）の払拭

**『マフィア・暴力団といった反社会勢力の介入、  
マネー・ローンダリングは、徹底的に阻止！』**



諸外国では、カジノ事業運営者は、厳しい審査を経てライセンスを取る。マネー・ローンダリングについても、口座開設や一定金額以上の取引の際には本人確認が行われるなど、対策を講じている。

## 「IR推進法」の附帯決議

- カジノ施設関係者については、的確なものが選定されるよう厳格な要件を設け、適合性について調査すること
- マネー・ローンダリングを防止するための措置を講ずること

# IRってなに？

■“負のイメージ”（＝ギャンブル依存症）の払拭

『**ギャンブル依存症は今でも存在する！**

**諸外国では、IRの導入を機に国をあげて依存症対策を講じており、有病率が減少している事例がある』**



**「IR推進法」や附帯決議～政府の対策・措置義務が明記～**

- ギャンブル依存症等の悪影響の防止措置
- 依存症予防等の観点からの厳格な入場規制
- ギャンブル等依存症対策に関する国の取組を抜本的に強化するため、ギャンブル等依存症に総合的に対処するための仕組・体制を設ける

# シンガポールの依存症患者数推移

シンガポールのギャンブル依存症対策を行っている行政機関である National Council on Problem Gambling (NCPG：問題ギャンブル全国協議会) の報告書によると、依存症患者数を示す病的ギャンブル有病率および問題ギャンブル有病率は減少している。推移は以下のとおりである。

	2005年	2008年	2011年	2014年
病的ギャンブル 有病率	1.5～ 2.8%	0.7～ 1.6%	1.0～ 1.7%	0.03～ 0.4%
問題ギャンブル 有病率	1.4～ 2.6%	1.1～ 2.2%	0.9～ 1.6%	0.3～ 0.8%
合 計	3.3～ 5.0%	2.1～ 3.5%	2.0～ 3.1%	0.4～ 1.0%

# 大阪アディクションセンター（OAC）

～当事者・自助グループ、司法、医療、行政からなるネットワーク～

切れ目なく相談・治療・回復を支援する体制を整備



## IRの“負”のイメージ：その②

- 日本で法が成立したら、IRがいくつもできる
  - ・ 競争激化により、すぐに潰れるのでは。



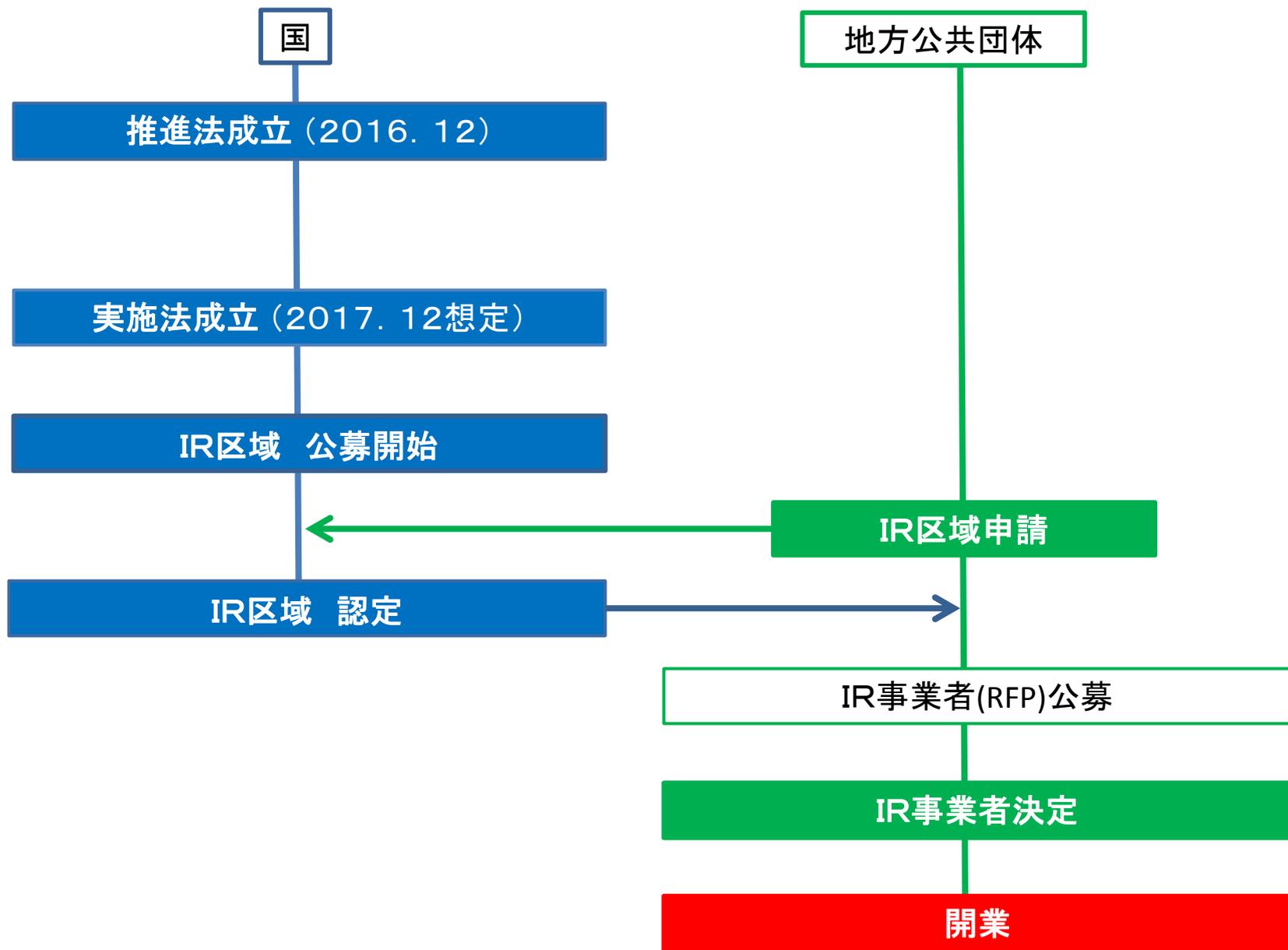
## 「IR推進法」の附帯決議

- 特定複合観光施設としての国際的競争力の観点及びギャンブル等依存症予防等の観点から、数を厳格に少数に限る
- 区域指定数の上限を法定すること



作成: 関西経済同友会  
(2015.1月)

# IR関連法と自治体の動き（想定されるイメージ）



# IR（統合型リゾート）ってなに？

橋 爪 紳 也

大阪府立大学21世紀科学研究機構教授  
大阪府立大学観光産業戦略研究所長  
大阪府／大阪市特別顧問